

令和五年

年頭のご挨拶



一般社団法人 富田林医師会

会長 藤岡 洋

明けましておめでとうございます。2022年もコロナ対時に明け暮れた1年となってしまいました。通常の診療に加え、新型コロナ感染症の診断・対処、休日も返上し、時間外のワクチン接種（集団、職域、巡回、訪問、個別等）への多数の先生方のご協力で3回目までの新型コロナウイルスワクチン接種率は府下でもトップクラスになりました。ワーキンググループの先生方のご指導のもと、統率のとれた対応で成果をあげることができました。会員の先生方の献身的なご協力に感謝しかありません。本当にありがとうございます。

その中で各種の補助金制度や煩雑な届等の複数回の変更（にんじんをぶら下げられているような形ですが）など大変な上、裏ではオンライン診療の拡大、リフィル処方への導入、そしてマイナ保険証への強引な切り替え方針に伴うオンライン資格確認の義務化（令和5年4月より）でカードリーダーを設置しないと医療機関はマイナカードでは保険資格確認ができなくなります。ただし、現在マイナカード取得は任意ですので、健康保険証単独でも可能なはずですが。本当に患者様のため、国民のためになるものか疑問な点多々あります。

先日私も約30年前に勤務していました某公立病院でランサムウェア（暗号化されたデータを復旧するため金銭を要求する手口）と見られるサイバー攻撃を受け、外来診療、手術、救急受け入れ等数週間ストップしてしまいました。当病院は私の勤務時も検査、処方、診察予約は電子化されていました。当時でもシステム障害に専属で対処するスタッフ（府職員）がいましたが、制御できなかったのでしょうか？電子化は便利ではありますが、セキュリティという面からは心細くなります。大丈夫でしょうか？

このような国からの締め付けに対し、府医より茂松茂人前府医会長が日本医師会筆頭副会長に就任されましたので、政府の河野太郎デジタル相、加藤勝信厚生労働相らとしっかり交渉していただかねばなりません。当医師会も団結をして協力していけるよう努力する決意です。さてWITHコロナの方針に従い、第8波が顕著にならないければ、3年ぶりの新年互礼会を1月28日（土）に開催する予定です。感染対策は充分とって挙行したいと存じます。会員の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。最後になりましたが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。本年もよろしく申し上げます。

